

決算報告書

(第 47 期)

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

ファミリー・サービス・エイコー株式会社

長野市居町43番地1

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
【流動資産】	【 1,981】	【流動負債】	【 590】
現金預金	1,365	支払手形	277
受取手形	6	買掛金	78
売掛金	416	未払金	161
商 品	131	未払法人税等	43
製 品	42	未払費用	3
原 材 料	10	未払消費税等	17
前払費用	2	前受金	2
前渡金	8	預り金	4
【固定資産】	【 1,000】	賞与引当金	5
(有形固定資産)	(796)	【固定負債】	【 524】
建 物	247	資産除去債務	9
建物附属設備	9	退職給与引当金	65
構築物	1	役員退職給与引当金	450
機械装置	1		
工具器具備品	74	負債の部合計	1,114
土地	465	純資産の部	
(無形固定資産)	(7)	【株主資本】	【 1,866】
電話加入権	3	(資本金)	(498)
ソフトウェア	4	資本金	498
(投資等)	(197)	(資本剰余金)	(139)
出資金	1	資本準備金	139
長期貸付金	78	(利益剰余金)	(1,229)
差入保証金	11	繰越利益剰余金	1,229
会員権	15		
長期繰延税金資産	160	純資産の部合計	1,866
貸倒引当金	△68		
資産の部合計	2,980	負債及び純資産の部合計	2,980

注 記 表

．重要な会計方針に係る事項

1．資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品移動平均法による原価法

製品・原材料・仕掛品...総平均法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産.....定率法

ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物付属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得する建物付属設備及び構築物については定額法によっております。

(2) 無形固定資産.....定額法

自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、自己都合退職要支給額より退職金共済制度からの支給額を控除した金額を当事業年度末の退職給付債務とする方法(簡便法)により計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく事業年度末要支給額を計上しております。

．当期純損益金額

当期純利益 264百万円